

	記載要領
福祉用具が必要な理由	<p>【入浴の連続動作について】</p> <p>脱衣室までの移動→脱衣→脱衣室と洗い場の段差を越え浴室に入る→洗い場での移動と立ち座り→洗体→浴槽に入り、座ってお湯に浸かる→浴槽内で身体を安定させる→浴槽内で立ち上がる→浴槽から出る→身体を拭く</p> <p>〈 新規購入の場合 〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 本人の介護状況について 2, 利用者が一連の動作の中で困難だと感じる場所と、その環境について (例: 浴槽縁の幅 ○○cm ・ 浴槽の深さ ○○cm ・ 市販品の高さ ○○cmで低い など) 3, 現状のままでは生活維持ができなくなった原因(病歴)について 4, 病名の羅列ではなく、どのような病状・身体的理由で、どのような動作が困難になったか 5, その用具を選択した理由について 6, 福祉用具を購入することで、それがどのように改善されるか 7, その他、必要と思われる情報 <p>※ 動作に関して1～5までをふまえて、理由書の記入をお願いします。</p> <p>※ 特に「4」に関しては細かく記入をお願いします。</p> <p>※ 入院中に購入された場合は、退院日の記入をお願いします。</p> <p>※ R6.4.1からスロープ・歩行器・歩行補助つえについて購入か貸与か選択できるようになりました。購入を選択する場合は、その趣旨及び選択に必要な情報の提供、並びに医師や専門職の意見、身体状況等を踏まえた提案をしたうえで、利用者(又は家族)に購入を選択させ、その旨を理由書に記載してください。</p> <p>(記入例)</p> <p>「選択制については、その趣旨及び選択に必要な情報の提供、並びに医師や専門職の意見、身体状況等を踏まえた提案をしたうえで、利用者(又は家族)が購入を選択した。」</p> <p>記載のポイントは次の3点を含むこと</p> <ol style="list-style-type: none"> ①利用者への情報提供(選択できるということ・選択に必要な情報) ②専門職の意見、身体状況を踏まえた提案 ※専門職とは、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 など ③利用者(又は家族)が選択した <p>〈 同品目の再購入の場合 〉</p> <p>上記の1～7項目に加え①・②の記入をお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①, 購入当時の利用者の状況と、現在の利用者の状況の比較し、どういう状況により再購入が必要なのか。 ②, 以前購入したものが、現在どのようになっているのか。 <p>※ 動作に関して1～5・②をふまえて、理由書の記入をお願いします。</p> <p>※ 特に「4」に関しては細かく記入をお願いします。</p> <p>※ 入院中に購入された場合は、退院日の記入をお願いします。</p> <p>※ 高齢者の住まいに入居・入所中の方は、建物名の記入をお願いします。</p>